

〈第1日目〉3月13日[月]

13:30~13:40 開会挨拶

Session 1 【座長】筑波大学遺伝子実験センター 三浦 謙治

13:40~13:55 ■名古屋大学 多田 安臣
実施課題「機械刺激依存性イオンチャンネルを介した新奇植物免疫機構の解析」

13:55~14:10 ■九州大学 松下 智直
実施課題「光呼吸に必須の役割を担うグリセリン酸キナーゼの
新奇相互作用因子の探索」

Session 2 【座長】筑波大学遺伝子実験センター 柴 博史

14:30~14:45 ■近畿大学 秋田 求
実施課題「C3-C4型光合成転換植物のC3型/C4型特異的遺伝子の解析」

15:20~15:35 ■鳥取大学 明石 欣也
実施課題「バイオ燃料植物ジャトロファの乾燥冷害耐性品種の開発」

15:35~15:50 ■名古屋大学 高橋 宏和
実施課題「ダイズ二次通気組織で高発現するルベオール合成酵素の機能解析」

Session 3 【座長】筑波大学遺伝子実験センター 渡邊 和男

16:10~16:25 ■長崎県農林技術開発センター 波部 一平
実施課題「バレイショ近縁種からの環境ストレス耐性形質導入」

16:25~16:40 ■理化学研究所 中野 雄司
実施課題「ブラシノステロイド情報伝達遺伝子群による
サトウキビ・トマトへの有用形質の導入」

16:40~16:55 ■くらしとバイオプラザ21 佐々 義子
実施課題「遺伝子組換え技術啓発資料の作成・普及」

〈第2日目〉3月14日[火]

Session 4 【座長】筑波大学遺伝子実験センター 江面 浩

9:00~9:15 ■東洋大学 梅原 三貴久
実施課題「マイクロトムのカーラクトン酸化酵素欠損変異系統の探索」

9:15~9:30 ■国際基督教大学 早間 良輔
実施課題「アンチフロリゲンによるトマトの花成・結実期をコントロールする
遺伝的機構の解明」

9:30~9:45 ■国際基督教大学 伊藤 瑛海
実施課題「マイクロトムにおけるRAB GTPaseの網羅的機能解析」

9:45~10:00 ■長岡技術科学大学 西村 泰介
実施課題「トマト・エビジェネティック組換え自殖系統群の確立と解析」

Session 5 【座長】筑波大学遺伝子実験センター 大澤 良

10:20~10:35 ■宇都宮大学 房 相佑
実施課題「遺伝子組換えナタネのアブラナ科栽培 4種への遺伝子拡散リスク評価」

10:35~10:50 ■農研機構 四方 雅仁
実施課題「遺伝子組換え作物、遺伝子組換えカイコ、ゲノム編集に関する
情報提供と効果的なコミュニケーション方法の検討」

10:50~11:10 総合討論

11:10~11:20 閉会挨拶

平成28年度 成果報告会

事前参加登録不要

日時

平成29年

3月13日[月]

13:00 ▶ 17:30

3月14日[火]

9:00 ▶ 12:00

場所

筑波大学総合研究A棟
110公開講義室

(茨城県つくば市天王台1丁目1-1)

PTraD
Initiative

筑波大学
遺伝子実験センター
形質転換植物デザイン研究拠点

<http://www.gene.tsukuba.ac.jp/>